

あそびに いこう!

おやこでゆっくり過ごす大切な“おやこ時間”♪
鶴岡市には、遊びや絵本を通して、おやこでコミュニケーションを
とりながら、楽しい時間を過ごせる場所があります。今回は、その
一部をご紹介します。

子育て支援センター

＊子育て広場 まんまルーム (鶴岡市末広町3-1 マリカ東館3階)

まんまルームは、就学前(主に0～3歳)のお子さんや、
子育て中のお母さんお父さん、孫育て中の祖父母の方々が気軽につどい、
ゆったり過ごせる場所です。年末年始(12/29～1/3)を除いて、毎日(土・日・祝日も)開館しています。

＊こども家庭センター なかよし広場 (鶴岡市泉町5-30 総合保健福祉センターにこ♥ふる 2階)

なかよし広場は、おやこ等で利用できる自由来館の広場です。授乳室・こども用トイレがあり、おやこ
等で安心して遊ぶことができます。
「ハッピーホリデー」では、毎月1回、土日どちらかの午前中になかよし広場を開放しています。

☆各地区にも子育て支援センターがあります。ぜひ遊びにきてください。

- ＊常念寺保育園 地域子育て支援センター るんびに一園
- ＊おおやま子育て支援センター
- ＊民田子育てひろば あそぼ
- ＊栄子育て支援室 なかよしルーム
- ＊～三瀬森の保育園～ぼかぼか森の小さなおうち
- ＊小堅わんぱくルーム
- ＊たがわ子育て支援センター
- ＊藤島子育て支援センター
- ＊子育てともにひろば (NPO 法人明日のたね)
- ＊羽黒子育て支援センター にこにこ広場
- ＊くしびき子育て支援センター
- ＊朝日子育て支援センター こいこいルーム
- ＊あつみ子育て支援センター こあらルーム

各施設の情報やお便りなどは、
こちらからご覧いただけます。▶



まんまルームの様子 ▶

児童館

鶴岡市には、児童館が6か所あります。
平日だけでなく、土日も開館しており、家族で過ごす時間に利用しやすい施設です。



◀ 中央児童館の様子

- ＊中央児童館ひろっぴあ
- ＊鶴岡西部児童館ゆめつくり
- ＊鶴岡南部児童館みなつくる
- ＊陽光児童館
- ＊大山児童館くるくる
- ＊藤島児童館

各施設の情報などは、
こちらから
ご覧いただけます ▶



図書館

各施設の情報などは、
こちらから
ご覧いただけます ▶



鶴岡市には分館も含めて6館の図書館があります。
図書館では多くの絵本と触れ合うことができ、家族
で本を通じて楽しい時間を共有することができます。
その他、おはなし会も各館で行っています。

- ＊本館
- ＊藤島分館
- ＊羽黒分館
- ＊榊引分館
- ＊朝日分館
- ＊温海分館

あともがき

年末年始は言われたほどの大雪にならず、あつという
間に溶けてしまいましたがその後の最長最強寒波は
さすがに凍える思いです。最近の極端な気象現象が災
害につながることを願います。

今年は、丙午(ひのえうま)で、60年前は出生数
が大幅に減少したそうですが、情熱・飛躍・活力といっ
た勢いのある年といわれています。子供たちの元気な成
長につながればよいと思います。

(編集部長 三井)

いっしょの時間が宝物



絵本でこころをゆたかに♥

すこやかネット 通信



— 第61号 — (R8.3.25)

発行：鶴岡市すこやかな子どもを生き育てるネットワーク推進委員会

事務局：鶴岡市健康福祉部 健康課

〒997-0033 鶴岡市泉町5番30号 TEL0235-35-0157

メールアドレス：kenko@city.tsuruoka.yamagata.jp

鶴岡市ホームページ『すこやかネット』はこちら →



絵本読みまショー お話でつながる心と心



令和7年11月8日(土)に絵本作家のサトシン氏を講師にむかえ、公開講演会を開催しました。今年度は総合保健福祉センターにこ♡ふるでの会場聴講に加えて、後日アーカイブ配信を行い、あわせて80名が参加しました。サトシン氏には、絵本の読み聞かせをしていただきながら、絵本に込められた思いや読み聞かせの大切さについてご講演いただきました。今回は、その講演内容の一部を紹介します。

本の読み聞かせはいいことがいっぱい

想像力UP

絵本の登場人物になりきって、想像の世界で様々な体験をするようになります。



愛着形成

触れ合うことでこどもの大人への信頼を深めます。



ことばとところが豊かに

言葉を学ぶことで考える力や人に関わろうとする気持ちが育ちます。



関心や興味が広がる

いろんな本への出会いがこどもの世界を広げます。



講師の横顔

絵本作家 サトシン氏



1962年、新潟県生まれ。広告制作プロダクション勤務、第一子誕生を機に専業主夫、フリーのコピーライターとなり、30歳を機に故郷の新潟にUターンし、その後絵本作家となる。
絵本「うんこ！」(サトシン：作、西村敏雄：絵)で第1回リプロ絵本大賞受賞。絵本「おかあさんだもの」(サトシン：作、松成真理子：絵)は家族の温かさや命の大切さを伝える教材として、本市の思春期教育でも使用している。2007年4月「おててえほん普及協会」設立。親子遊び「おてて絵本」の普及と、こどもたちの「おてて絵本」ストーリーの採取・紹介に力を入れている。

単純だからこそおもしろい

うんこ!



『うんこ!』 作：サトシン 絵：西村敏雄 出版社：文溪堂

タイトルの通り「うんこ」のお話。わんこのおしりから地面に落とされたうんこ。道で出会う動物みんながくさいと言って逃げていきます。会場でもサトシン氏の合図のもと、みんなで「くっさーい!」とかけ声を! みんなに嫌われながらもうんこは前に進み、最後は役に立ちます。みんなで楽しくうんこの行方を見届けました。

サトシンさんのひとこと

- 🎧 時に単純な言葉で人は元気になったり、背中を押されたりするのです。「うんこ」と聞くとついぷぷっと笑ってしまいますよね。
- 🎧 臭くて汚いうんこでも誰かの役に立てるのです。



今年度は、これまでの講演会スタイルからガラリーと変わり、親子で参加できる絵本の読み聞かせショーを企画しました。講師は、「うんこ」や「わたしはあかねこ」でおなじみの人気絵本作家「サトシン」さん!初めての試みで、ドキドキ・わくわくしながら当日を迎えました。当日は幼児を連れた親子の参加が中心でしたが、小さなこどもがノリノリで楽しめるお話や子育て中の保護者がホロリと涙するようなお話まで、盛り沢山の内容でした。サトシンさんの本には、たくさんの「笑い」の要素が盛り込まれており、次のページへのドキドキ感があります。このドキドキ感や「きつとこうにちがいない!」「どうなるのかな?」と推測しながらページを読み進めることが絵本の醍醐味で、こどもの創造力を掻き立てるのだと、改めて実感する楽しい時間となりました。
(研修部長 渡邊)

みんなと違って、わたしはわたし

わたしはあかねこ



『わたしはあかねこ』 作：サトシン 絵：西村敏雄 出版社：文溪堂

白と黒の親ねこから生まれたのは赤色のねこ。他の兄弟はみんな白、黒、ぶちなど、ねこらしい色と模様でしたが、みんなとは違うあかねこは自分の色を気に入っていました。でも周りには同情するばかりで、自分を認めてもらえないあかねこは家を出ていってしまいます。そこで出会ったのは青色のねこ。あかねこくんはあかねこを見て「きれい」と褒めてくれます。それから、あかねことあかねこくんには赤、青、緑、黄などカラフルな色の赤ちゃんねこが生まれ、みんなでずっと一緒に暮らしました。

サトシンさんのひとこと

- 🎧 みんな異なる長所をもち、自分らしく生きることが幸せにつながるのです。
- 🎧 大人は、こどもが自分らしさを持ち続けられるように接することが大切なのです。



参加者の声

- 音楽とおはなしとサトシンさんの軽快なテンポですと笑っていました。最高に楽しい時間でした!
- 笑って楽しく、じーんとくることもあり、人生に大切なことを楽しく教えてくれたと思います。
- 自分が選ばないような絵本、知らない絵本に出会えてよかったです。
- 絵本一冊一冊に込められた意味が深く、理解しながらこれからも絵本の世界を楽しんでいきたいと思いました。
- サトシン先生の絵本をこどもにも読ませたいと思いました。
- “大人って楽しい”と思えるような姿を、こどもたちに見せていきたいと思いました。



サイン会もありました

一人ずつユニークな絵とともにサインを書いてくださったサトシンさん。参加者から大人気でした!

